



石橋小学校教育目標

「ふるさとを愛し 未来を拓く 石小っ子」

校長室だより

文責：藤記 令和3年 9月7日

目指す
児童像

- ◇勉強の好きな子
- ◇心の優しい子
- ◇健康でたくましい子
- ◎元気なあいさつのできる子

5月27日に実施した「全国学力・学習状況調査」（6年生）、「とちぎっ子学習状況調査」（4・5年生）の結果が届きましたので概要をお知らせします。

全国学力・学習状況調査の結果より

この調査は、国が全国の小学校6年生を対象に行っているものです。今年度は国語と算数のみで、理科はありませんでした。また、学力調査に併せ、学習への取り組み方や学習に関わる生活の様子などを質問紙により問う、学習状況調査も行いました。下に示した表は、本校の6年生の平均正答率を国と比較したものです。詳しい内容は、「考察」の中で述べさせていただきます。

	国 語				算 数				
	言語	話す 聞く	書く	読む	数と計算	図形	測定	変化と 関係	データ の活用
6年	▲	≒	≒	≒	≒	▼	≒	▼	≒

※全国平均に対し「▲ 上回っている（5点以上）」「△ やや上回っている（3点以上5点未満）」
「≒ 同程度」「▽ やや下回っている（3点以上5点未満）」「▼ 下回っている（5点以上）」

[考察]

- ・国語は全国平均をやや上回っていましたが、算数はやや下回っていました。
- ・国語では、「言語」の項目で「漢字の読み書き」や「主語・述語の関係を捉えること」などが平均を大きく上回っており、漢字練習等に取り組んだ成果が表れていると思います。一方、「読む」項目で「文章全体の構成をとらえて内容を把握すること」や「書く」項目で「文章全体の構成や展開を考えて書く」ことに課題が見られました。今後、教科書の音読や読書に力を入れると共に筋道を立てて書く活動を多く取り入れ、苦手な分野も向上させたいと思います。
- ・算数では、「データの活用」項目で「グラフの読み取りやグラフからの考察」が平均を上回っています。一方、「図形」項目の「三角形の面積や複数の図形を組み合わせた図形の面積の求め方」や「変化と関係」項目の「速さ、道のり、時間の関係及び求め方」に課題が見られましたので、復習していきます。
- ・本調査の算数では、公式を覚えてもその意味が本当に分かっていないと解けない問題や、覚えた知識を活用する応用問題などが多く出題されており、それらの正答率があまり高くありません。今後、公式を覚えるだけでなく、その公式に至るまでの過程をより丁寧に扱っていきたいと思います。
- ・本調査は記述式の問題が多く、全国的に無回答も多いのですが、本校は全国より無回答が少なく、よい傾向でした。

本調査は6年生を対象に行っていますが、この結果は、1年生から今に至るまでの総合的な学習結果であると受け止めています。したがって、結果の分析は全職員で当たり、そこから得たものは6年生だけでなく、全学年の指導で活かしていきます。

とちぎっ子学習状況調査の結果より

この調査は、栃木県が小学校4・5年生を対象に行っているもので、教科は国語・算数・理科です。ここに示した表は、本校の学年の平均正答率を県と比較したものです。もう少し詳しい内容は、「考察」の中で述べさせていただきます。

	国 語						算 数				理 科	
	言語	情報	話す 聞く	言語 文化	書く	読む	数と 計算	図形	測定	データ の活用	物質・エ ネルギー	生命・ 地球
4年	≒	▲	▲	▲	▲	≒	▲	△	△	▲	△	△
5年	≒	≒	△	△	▲	≒	△	≒	▲	▲	≒	△

※県平均に対し「▲ 上回っている（5点以上）」「△ やや上回っている（3点以上5点未満）」
「≒ 同程度」「▽ やや下回っている（3点以上5点未満）」「▼ 下回っている（5点以上）」

〔考察 4年生〕

- ・国語では、話の内容の聞き取りや文章を書くこと等が平均を上回っています。一方、漢字を書くことや文章の読み取りに若干課題が見られます。これらは毎日の繰り返しによって向上していく項目ですので、漢字練習や読書への声かけを家庭でもお願いします。
- ・算数では、すべての項目で平均を上回っており、好ましい状況です。しかし、細かく見ると課題もありますので、学校ではこれらの補充とともに、さらに意欲を高めながら子供たちの持てる力を伸ばしていきたいと思えます。
- ・理科は、全体的に平均を少し上回っている状況ですが、細かく見ると、「身近な自然の観察」に課題が見られます。「風やゴムの働き」など、実験分野は平均を大きく上回っているため、観察分野の興味関心も高めながら、全体を伸ばしていきたいと思えます。

〔考察 5年生〕

- ・国語では、話の内容の聞き取りや文章を書くこと等が平均を上回っています。一方、漢字の読み書きにやや課題が見られます。習得しなくてはならない漢字の数は、今後さらに増えていきますので、毎日、繰り返し取り組んでいきましょう。
- ・算数では全体的に平均を上回っています。特に「割合」や「グラフと表」で上回っていますが、「図形」や「面積」では課題が見られます。不十分なところを補充しながら得意なところをさらに伸ばしていきたいと思えます。
- ・理科では、「植物の生長、雨水のゆくえと地面の様子、自然の中の水」が平均を上回るなど伸びていますが、「物の体積と温度」に課題が見られました。興味・関心を大切にしながら実験から得られた結果を考察してまとめる学習に、より力を入れて指導していきたいと思えます。

以上、全体の大まかな考察を記載しましたが、これらのことには個人差がありますので、学校では習熟度に応じた個別指導も重視していきます。また、学力は、学校での学習に併せて、家庭でも復習することによって伸びていきます。漢字練習、計算練習などは、学校の授業だけでは時間的に十分ではありません。これからも学校と家庭が連携し、子供たちのよりよい成長が図れますよう、ご協力よろしくお願いたします。